

第24回 図書館とともにすすめるまち・教育・情報の未来



図書館総合展2022

— ONLINE — **plus** (おんらいん ぷらす)

出展説明会

「初出展あるいは久しぶりに出展ご検討の皆さまへ」 編

図書館総合展運営委員会

お問合せ先：LF@j-c-c.co.jp

■本日の説明会

- 本日のすすめかた
- 小展運営委員長より
- (初めての方には) 小展ご紹介 (おなじみの方にはこれまでのおさらい)
- 今年のカ開催形式
- 運営委よりご提供するもの/しないもの、出展者にご用意いただくもの
- 開催までのスケジュール
- 出展メリットを年間ご利用いただける件
- サテライト会場とカンファレンス会場
- 開催案内冊子とwebサイト
- 質疑応答

■本日のすすめかた

- だいたい1時間を予定。
- 見逃し視聴の方用YouTube公開のため録画させていただきます。
- ご質問は、zoomのチャットか（できるだけ時間内に回答）
- 共有ドキュメントか（詳しく回答） <https://bit.ly/3IITLXs>
時間中にお答えしきれないもの、またより詳しい回答を、説明会后、共有ドキュメント上におきます。
- お問い合わせへ（こっそりっぽい問い）
<https://www.libraryfair.jp/contact>
- 小展へのご要望も同様です。
- 挙手発言も受け付けます（ミュートを外してお声かけを）

■ 小展ご紹介、これまでのおさらい

- 小展は (2019年まで) 毎秋、パシフィコ横浜 (ホールD+アネックス) を会場に、3日間の会期、のべ3万人の来場、300~400の出展、90の講演で開催してきました。館種を越え、立場を越え、テーマを越えて集まる図書館イベントは他には多くなく、この種のコンベンションでは日本最大です。
- 2021年からは時世の影響を受け、コンテンツ (展示・イベント・ワークショップ・LIVEなど) を全面オンラインで開催。会期は1カ月間 (後述：出展者さまのPRご利用は1年間)。
限定コンテンツもみられる登録ユーザーは、2022年5月時点で14,228となっています。
- オンライン化の経緯と収穫については、**CA1996、「社会教育」2021年11月号**にご報告させていただいております。

(小展の名前程度をご存じの方へ)

■現在の形式の価値と評価

• 成功：

- ★学校図書館、ワンパーソン・ライブラリー、非正規さん、遠方の皆さまのご参加をいただきました。
- ★図書館界のIT促進に微力ながら貢献できたかと思っています。
- ★講演、WSに代わる様々なイベント形式を試しました。

• 失敗：

- ★コア日の設計を間違えました。
- ★せっかく外に開けたのに「図書館外」へのアピール不足。
- ★参加者さんの集中力をつくりきれず、また参加者さんの時間をやみくもに奪ったおそれもあります。
- ★そして、、、何かが足りない。
- ★均衡収支バランスを失っています。

(小展の名前程度をご存じの方へ)

■現在の形式の価値と評価1

・オンライン化で獲得しているもの：

- ★学校図書館、ワンパーソン・ライブラリー、非正規さん、遠方の皆さまのご参加を頂きました。
- ★「図書館にまだ少ししか関わっていない（しかし近々近しくなろう）」という方々」のご参加を頂きました。
- ★図書館界のIT促進に微力ながら貢献できたかと思っています。
- ★講演、WSに代わる様々なイベント形式を試しています。

・オンライン化で失っているもの：

- ★同じ立場の同志との偶然の出会い。
- ★違う館種の方々との同席・相席・出会い。
- ★後輩、新人への人脈とノウハウの引継ぎ。
- ★参加者さんの集中力をつくりきれず、また参加者さんの時間をやみくもに奪ったおそれもあります。
- ★そして、、、何か足りない。

(小展の名前程度をご存じの方へ)

■現在の形式の価値と評価2

- **オンライン化でも継がれているもの：**
 - ★発表・営業を通じた外部とのコネクションの形成。
 - ★他館種、近隣業界から情報収集するのは極めて有益、という感覚。
 - ★〈業者-図書館〉間が近しい～親しい祝祭期間。
- **2022年開催で奪還また獲得をねらっているもの：**
 - ★復活するリアル（対人、対物）への肩慣らし。
 - ★withコロナ、postコロナの営業・広報スタイルを諸々実験
←「失敗していい空間」としての小展 ONLINE
 - ★後輩、新人への人脈とノウハウの引継ぎ。
 - ★なにより「雪解けの水は美味しい」「久しぶりに会うあの人はいい人」という時の利を思いっきり味方にしてください。

■2022年の開催

1. 期間内ひいては年間通じた作戦で活動できる **オンライン開催**
2. 司書のひとり一人、全国各所が会場になる **サテライト会場開催**
3. ひさしぶりと新たな出会いで次を拓く **カンファレンス会場開催**

• の3本立てです。

■運営委よりご提供するもの/ しないもの、出展者にご用意いただくもの

- ご提供するものは、**場とインデックス**、**広告・広報・告知**、**場の盛りあげ**、**機会**です。
- **開催案内冊子**（タブロイド判、9月下旬発行）、メルマガ（週刊、36,400件）、SNSでご出展とイベント情報を拡散します。
- 出展団体ページとイベント案内ページほかをご提供しますが、その外つまりリンクで自社サイトなどに拡げるのはもちろん自由です。
- **フォーラム（イベント）は各自で制作していただき（YouTube、Teams、Zoomなど）、小展サイト内でリンクを示すしくみです。**
- メルマガへのPR掲載、出展者ページは、各出展者が随時編集できるかたち（wordpress程度の作業）

(といつつ)

■ほんとうにご提供するものは

- 各方面への **ご説明** (と責任転嫁)
- 新しいこと・ひと・ときへの **きっかけ**
- **失敗** していい機会

■開催までのスケジュール

- 5月23日：サイトリニューアル（年間イベント告知体制へ）
- 7月中旬：2022年ページに切り替わります。ここまでにお申込みいただければ最初からtop最上表示です（2020年以前のコンテンツはアーカイブ公開）
- **～8月31日：出展申込×切（開催案内冊子へ掲載するなら）**
- ～9月10日頃：開催案内冊子校了（イベント開催日・タイトル・「募集！」など掲載したい情報をこの日まで）
- **9月下旬：開催案内冊子全国送付（フォーラム受付開始）**
- 11月1日～30日：会期（特集日を設定）とも、

■ まずは

- お申込みを！
- 出展料：
一般 = ¥220,000
非営利 = ¥110,000
ポスター = ¥11,000
- **お早めに！ 申込時より1年間、メルマガ・webページ・SNSをお使いいただけるからです。**
- **サテライト会場にもご登録いただけますと効果倍増です。**

■サテライト会場 1

- 出展者さまのオフィス、ショールーム、図書館、工場などを、見学に相談会に、イベントにと、来場者を招いて公開するものです。

<https://www.libraryfair.jp/news/2022-05-11>

- サテライト会場開催は「行政等の指導・基準に従いつつ開催可否を判断する」ものとし開催不可能な場合のオンラインに代替します。**リバーシブル開催**

■ サテライト会場 2

- サテライト会場は、全会期にわたって開催しなくともよく、断続的に開催してもよいです（会場主と行政判断）。
- サテライト会場では、会場主のイベントのほか、他の出展者との協業、共催をすすめていただくこと大歓迎。運営委員会企画も出張します。
- サテライト会場には、運営委員会主催企画の「スタンプラリー用部材」「景品バッジ」「会場表示ポスター」等をお送りします。
- サテライト会場運営にあたっては、事務局でマニュアルを用意し、場合により事務局員を派遣します（無料）

■カンファレンス会場

- 会議の序盤と後半に2回、100～200名が一時に入場できる出入り自由の空間イベントを、それぞれ1-2dayで開催します。
- 会場では長机ブース（option出展者有料オプション）＋トークイベントステージ、ほか展示スペースを設けます。
- 一方は小展ゆかりの横浜、もう一方は某地方で調整中です。
- 7月頭までに発表（オプション出展もそこで募ります）。

■開催案内冊子

- 今年もタブロイド判4c8p構成（予定）です。
- 8月20日～9月13日頃まで編集、9月下旬全国発送です。
- 発行部数 30万部
- **紙面広告、折込広告についておってご案内します。**
- **図書館周縁、図書館外へのPR、問いかけを重点課題においています。**
- 今年はイベントページ配布数に制限がないので「9月9日決定分」までしか掲載できません。…配布後はwebサイト参照。

■ 質疑応答など

- 個別の相談会も承っております。
- 質疑記録をこちらに残します（順次改訂）
<https://bit.ly/3IITLXs>
- この説明会の動画はこちらから
<https://www.youtube.com/channel/UCvKAycXbwtCFLrsdsZe89nA>
-

みなさまのご出展をお待ちしております。